令和3年9月9日
国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所

静岡県内の渋滞対策の今後の進め方を議論しました ～令和3年度 第1回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会を開催～

◆お知らせ内容

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会（以下、協議会）では、静岡県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくための取組を継続的に行っています。

今回、渋滞対策の進捗及び最新の ETC2.0 データによりモニタリングした渋滞状況を確認するとともに、今後の渋滞対策について確認しました。

● 議事

- ・渋滞対策の進捗と効果・影響について
- ・今後の渋滞対策について

資料

- ・別紙1：静岡県道路交通渋滞対策推進協議会の概要、名簿
- ・別紙2：議事要旨

※なお、会議資料は以下よりご確認ください。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/torikumi/suisui/jutaikyo/index.html>

1. 配布先等

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ、浜松市政記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ

2. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

副所長

あさい 浅井

さとし 聡

計画課長

いえがき 家垣

よしひろ 義洋

TEL 054-250-8900

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル

#9910

（通話料無料・24時間受付）

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会の概要

- ・「静岡県道路交通渋滞対策推進協議会」(以下「協議会」)では、静岡県における道路の渋滞対策を効率的に進めていくための取組を継続的に行っています。
- ・平成24年度に、プローブデータをもとに道路利用者等の意見も踏まえて、「地域の主要渋滞箇所」を選定・公表しました。
- ・平成25年度以降、選定した主要渋滞箇所における渋滞対策の進捗の確認、最新のデータに基づく渋滞状況のモニタリング、新たな渋滞対策について検討を進めています。

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 名簿

	所 属	役 職
◎	中部地方整備局	静岡国道事務所長
	〃	建政部 都市整備課長
	〃	道路部 道路計画課長
	〃	道路部 地域道路課長
	〃	道路部 交通対策課長
	〃	沼津河川国道事務所長
	〃	浜松河川国道事務所長
	中部運輸局	交通政策部 計画調整官
	〃	静岡運輸支局長
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課長
	〃	交通基盤部 道路局 道路整備課長
	〃	交通基盤部 道路局 道路保全課長
	〃	交通基盤部 都市局 都市計画課長
	〃	交通基盤部 都市局 地域交通課長
	〃	交通基盤部 都市局 街路整備課長
	静岡市	建設局 道路部長
	〃	都市局 都市計画部 交通政策・MaaS担当部長
	浜松市	土木部 道路企画課長
	〃	都市整備部 交通政策課長
	静岡県警本部	交通部 参事官兼交通企画課長
	〃	交通部 交通規制課長
	中日本高速道路(株)東京支社	総務企画部 企画調整課長
	〃	保全・サービス事業部 交通技術課長
	〃	保全・サービス事業部 交通管制課長
	静岡県道路公社	常務理事
	静岡県トラック協会	専務理事
	静岡県バス協会	専務理事
	静岡県タクシー協会	専務理事
	事務局	
	中部地方整備局	静岡国道事務所 計画課
	中部運輸局	静岡運輸支局
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課
	静岡県警本部	交通部 交通規制課
	静岡市	建設局 道路部 道路計画課
	浜松市	土木部 道路企画課

令和3年度 第1回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 議事要旨

日時: 令和3年8月30日(月) 15:00~16:00
場所: 静岡国道事務所 2階会議室・WEB併用

1. 議題

(審議)

- (1) 渋滞対策の進捗と効果・影響について
- (2) 今後の渋滞対策について

(報告)

- (3) 主要渋滞箇所のモニタリングについて
- (4) TDM 施策の実施内容・予定について

2. 議事要旨

- ・前回以降の静岡県内の渋滞対策の進捗を確認した。
- ・国道1号掛川バイパスの速度低下対策、国道1号富士由比バイパス宮島東交差点の右折レーン2車線化、県道磐田掛川線の4車線拡幅について実施した渋滞対策の効果・影響を確認した。
- ・国道1号掛川バイパス下り線の西郷IC付近で顕著な速度低下が発生しており、令和2年度より西郷ICオフランプの改良工事に着手していることを確認した。
- ・国道1号安新歩道橋交差点では、西進交通による渋滞及び追突事故が発生しており、令和2年度より国道1号方面レーンの2車線化工事に着手していることを確認した。
- ・国道150号磐南Ⅱバイパスの整備の優先整備区間は令和7年度に完了予定で、現道国道150号の交通量が転換し、掛塚橋の主要渋滞箇所周辺の速度向上が期待されることを確認した。
- ・(主)浜松雄踏線では、(主)浜松環状線との交差点において渋滞が発生していたが、交差点東側の右折帯の延伸が令和3年7月に完了したため、今後交通状況のモニタリングを行うことを確認した。
- ・(市)掛川高瀬線は、実施している道路改良により(主)掛川大東線からの交通転換が促され、速度改善が期待されることを確認した。
- ・国道1号静岡バイパス瀬名IC・鳥坂IC交差点は、朝ピーク時の交通混雑の緩和のため、交差点改良による車線拡幅を検討することを確認した。
- ・国道1号長沼交差点では、渋滞対策として(主)山脇大谷線の立体化事業と長沼大橋架替事業の一体的な実施を対策案とし、今後、国・静岡県・静岡市が引き続き連携し、地域の合意形成を図りながら対策案の詳細検討を進めることを確認した。
- ・国道139号西富士道路広見IC北進オフランプは、ソフト施策を継続するとともに、ハード施策として、ランプ容量拡大対策および(都)本市場大淵線の活用を検討することを確認した。
- ・伊豆縦貫自動車道河津下田道路(Ⅱ期)の河津IC～逆川IC間が令和4年度に開通予定で、この開通により旅行時間短縮や観光バスを含む大型車の迂回解消が期待されることを確認した。
- ・令和3年度の(都)池田終線、(都)谷田幸原線の開通により、JR三島駅から高速道路や県立がんセンターへのアクセス向上や周辺道路の渋滞解消が期待されることを確認した。
- ・主要渋滞箇所のモニタリングは、コロナによる影響を経過観察することを確認した。
- ・磐田市御厨駅周辺企業に対するTDM施策の検討状況について報告があった。